

資料提供
広報取材依頼

情報提供日	令和 5 年 3 月 27 日
問い合わせ先	大田市文化協会（石賀、篠原） TEL 0854-82-6630

『第19代石見銀山領代官 井戸平左衛門正明公
いも代官頌徳碑533基全覧』の発刊について

1. 行 事 名	『第19代石見銀山領代官 井戸平左衛門正明公 いも代官頌徳碑533基全覧』の発刊報告
2. 目 的	
3. 開催（実施）期間	令和5年4月4日（火）
4. 開催（実施）時間	15:00～15:30
5. 開催（実施）場所	大田市役所 応接室
6. 主 催	大田市文化協会
7. 後 援	
8. 参加・入場者数	1名（大田市文化協会 会長 石賀 了(いしが りょう)氏）
9. 行事の内容	（全体の概要、特徴的なものなど） 大田市文化協会が石見銀山基金の助成を受けて見出しの冊子（A4判298ページ）を取りまとめ発行したので、市長に報告するもの。 頌徳碑（しょうとくひ）は島根、鳥取、広島、岡山県に広がっており、今回の調査により533基あることが判明した。一人の人間にこれほど多くの頌徳碑が建てられているのはほかに例がないと思われる。作成した「全覧」は「大田市頌徳碑総覧」（R2年度）に続くもので、頌徳碑全基の調査は過去実施されたことがなく、史上初の画期的な調査成果物である。 「全覧」は市内小中学校、高校、図書館、まちづくりセンターほか、関係機関へ寄贈する。
10. 特記事項	
11. その他	協会会報誌「きれんげ」掲載記事

第32回

大田市短歌大会

3年ぶりに一堂に会して開催

大田市長賞に吉田伸子さん

(静間町)

11月14日、大田市文化協会と

大田市短歌会は、第32回大田市短歌大会を大田市民センターで開催しました。

【大田市長賞】

吉田 伸子(静間町)

紺碧の海に夕焼け飽かず視る
この漁町に卒寿越えたり

【大田市教育長賞】

高尾 静子(茨城県)

百寿越え受けし五体はままならず
慰め給える啄木の歌

【大田市文化協会長賞】

大谷 静枝(大田町)

眼裏に古き良き日よ黄粉挽く
祖母の石臼に手を添えし

【佳作】

山崎 幸子(鳥井町)

森脇 忠雄(久手町)

中田 園枝(長久町)

大野 憲代(波根町)

秋田紀代子(祖式町)

佐藤 邦子(大屋町)

入賞者と作品は以下のとおりです。

澤江 洋子(長久町)
沖 ヒロ子(久利町)
福田 隆治(久利町)
和田 和子(久手町)

【選者賞】

第一位 野田葉留菜(仁摩町)

『太陽とにらめっこ』とう向日葵の
絵手紙届く靴弾みたり

第二位 佐藤 邦子(大屋町)

カーテンの隙間に顔を覗かせて
猫は留守番小春の一日

第三位 沖野 惇子(長久町)

寒風の中でも咲きしゼラニウム
吾も負けじとスニーカー履く



寺井先生(前列中央)と主催者・受賞者の皆さん

近日発行

『第19代石見銀山領代官 井戸平左衛門正明公』

いも代官頌徳碑533基金覧(仮)』



碑総覧』に続き、これまでの調査で現存を確認した4県に分布する全ての頌徳碑を網羅した『第19代石見銀山領代官井戸平左衛門正明公』いも代官頌徳碑533基金覧(仮)』を出版

『いも代官』として大田市民にはなじみの深い、第19代大森代官井戸平左衛門正明公。その遺徳を顕彰する頌徳碑は、島根県内各地、さらに岡山県、広島県、鳥取県にも分布しています。

令和5年4月末出版予定

● A4カラー 約300ページ

● 価格(税込) 3,500円

● 購入申し込み、お問い合わせは、大田市文化協会事務局まで。

電話 (0854) 82-6630

(大田市民センター1階)

お悔みのお知らせ

◆森井晃一様(令和4年10月)

会報「きれんげ」編集委員として、昭和50年4月の創刊号から平成24年3月発行の103号まで37年にわたり会報発行にご尽力いただきました。

◆向田忠行様(令和4年12月)

大田市の短歌界を長きにわたり牽引いただき、平成29年から令和3年までの5年間は第5代大田市短歌会会長としてご尽力いただきました。

お二人の生前のご功績を称え、ご冥福をお祈りいたします。

井戸公碑の市町村別の分布

2023年1月31日現在

地方	市町	5	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140	150	160	170	
石見	大田市	97																		-3
	江津市	81																		+1
	浜田市	173																		+35
	益田市	20																		+5
	美郷町	25																		(旧浜田58、金城町35、旭町17、弥栄村25、三隅町38)
	川本町	31																		
	邑南町	27																		
	津和野町	1																		
出雲	出雲市	7																		
	松江市	38																		+3
隠岐	海士町	2																		
	西ノ島町	9																		
鳥取	知夫村	5																		
	米子市	4																		
	境港市	7																		
広島県	生口島	1																		
	笠岡市	4																		
合計	533																		(上記の合計に飯南町の-1を入れて、合計40基増)	

井戸平左衛門公の頌徳碑を訪ねて④ 井戸公碑は総合計533基に

大田町 石賀 了

当協会が、石見銀山基金の助成を受けて進めてきた井戸公碑の現地調査が完了し、総数は533基になった(グラフ参照)。

令和2年度からの3年間で行った照会調査と現地調査の結果、調査を始める前の493基から40基も増えた(市町村ごと増減はグラフに表示)。

現地調査は3年度に松江市、益田市、浜田市を、今年度はそれ以外の市町村(県外を含む)を調査。最後に調査したのは江津市で、旧江津市の60基に苦戦した。

江津市教育委員会(以下「教委」と、各地域のコミュニティ交流センターなどのご協力で途中までは順調に進んだが、あと数基というところから進みにくくなった。草が多くて冬場でないときに行きにくい場所が多かったこともある。

車が通る道沿いに碑があればいいのだが、車を止めてから山道を歩くところもある。車も4輪駆動でないとなかなか、車を借りたり、持っている人に同



△倒れていた興福庵の新碑

行をお願いしたりした。

最後の3基はとてもドラマチックな発見だった。

まず金田町大野は現在無人になった地域で、4駆の軽トラックで林道を途中まで上がって、後は徒歩で進む。1回目は往復2歩歩いたが結局見つけられず、2回目は「わかると思う」という方と教委の職員さんと5人です上がったが、どうやら違う場所を探していたようで見つからなかった。私たちはあきらめて帰ったところ、何と職員さんが再挑戦してくれて、そして「発見!」の電話が。これには大感謝した。車を止めてから約700m奥の林道沿いだった。

もう2基は跡市町の興福庵と

いうお寺にある新旧の2基。最初の問題は、そのお寺が昭和の時代に建物が崩れ落ちて、参道も分からなくなっていたこと。「山をかき分けてでも行きませう」と言っていたら、跡市町の地域コミュニティ交流センターのセンター長さんと地元の方が、草刈りして別の近道をつけてくださった。そしてやっと行った寺の境内跡に、2層の高さの新碑は倒れた状態で見つかった。

最後は興福庵の旧碑。これは参道のどこかにあるのだが、参道がもうないので見当がつかなかった。建物跡から道らしきものを探し、行く手をさえぎる笹や草を刈りながら右に左に降りていくと、それらしいものを発見!この碑には文字が彫ってないので、資料写真と見比べて確定した。

その3基を発見したのが1月12日。それ以降は全体の情報をまとめる編集作業を進めており、3月中には報告書を印刷、4月中には希望される方に販売できる冊子を発行できると思っている。

別の稿でご案内もしているのですが、ご期待の上、ぜひお買い求めください。